

# 御家流香道寸法書(全)

(おいえりゆうこうどうすんぽうしよ)

閑柳菴撰 細谷松男校(明治三十年十月十五日) 原本

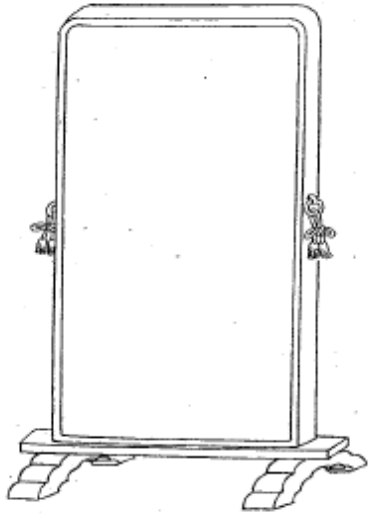
東北大学附属図書館狩野文庫所蔵

### 【凡例】

- ① 句読点、「」,送り仮名等は適宜追記しました。
- ② 旧仮名使いを新仮名使いに適宜改めました。
- ③ 黒字の( )は、本文内に小文字で記された注記です。
- ④ 青字の( )は、筆者の補足です。
- ⑤ 赤字は、判読等に曖昧な点がある部分です。

○清家流香道百ヶ條口授傳第七  
 十九條云く、押板五つ飾りの事  
 押板と云ふは、大内が  
 はじめ、公家に用ゐる物なり。公家  
 は床なし。掛物をかけらるるに押板  
 を用ゐらるるなり。下略

押板形寸法



狩野文庫印  
 細谷氏印



押板形寸法

○『御家流香道百ヶ條口授傳』第七  
 十九條に云わく「押板五つ飾りの事」  
 「押板」と云ふことを知る人少なし。大内が  
 はじめ、公家に用ゐる物なり。公家に  
 は床なし。掛物をかけらるるに押板  
 を用ゐられるなり。下略

一四一

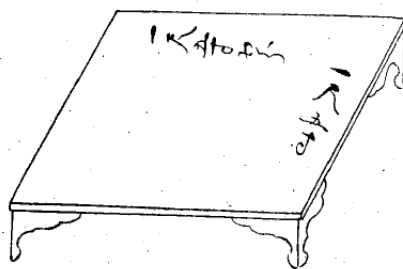
狩野文庫印

細谷氏印

押板前五飾臺

木品 檜 桐等々  
木地に作る。または黒朱にてよし。

- 一 長一尺五寸
- 一 横一尺五寸五分
- 一 足高さ一寸二分
- 一 板厚四分



○『御家流香道百ヶ條口授傳』第七十九條に云く「押板五つ飾りの事」  
 此の押板五つ飾り萬の飾りの元なり。中に香炉を置き、その前脇に火  
 筋立、香合を置き、燭臺二、花瓶二、以上  
 七つなれども「五つ飾り」と云うは、花瓶、燭臺二つ宛なれども、同じもの  
 なれば、花瓶一、燭臺一かざる故なり。  
 松男云く、右の文に據（拠）るに、五つ飾りは、今俗間に云う所の「五具足」  
 にして、五つ飾りの臺とは、則ちこれを載せ、かざる臺なり。

【見開きを分割】

押板前五飾臺

木品 檜、桐等々

木地に作る。または黒朱にてよし。

- 一 長一尺五寸
- 一 横一尺五寸五分
- 一 足高さ一寸二分
- 一 板厚四分

【図】

○『御家流香道百ヶ條口授傳』第七十九條に云く「押板五つ飾りの事」

この押板五つ飾りは、萬の飾りの元なり。中に香炉を置き、その前脇に火  
筋立、香合を置き、燭臺二、花瓶二、以上

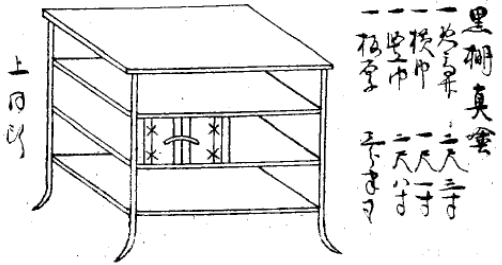
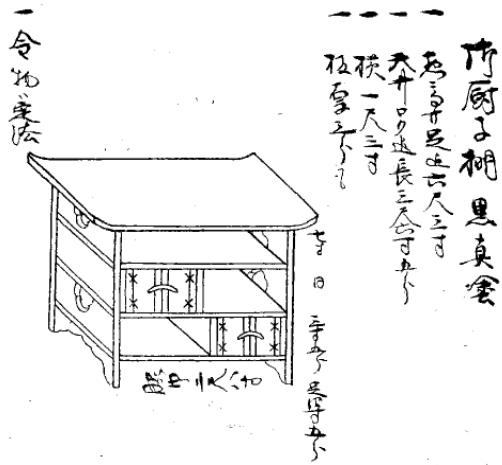
七つなれども「五つ飾り」と云うは、花瓶、燭臺二つ宛なれども、同じもの  
なれば、花瓶一、燭臺一かざる故なり。

松男云く、右の文に據（拠）るに、五つ飾りは、今俗間に云う所の「五具足」  
にして、五つ飾りの臺とは、則ちこれを載せ、かざる臺なり。

※「一寸」は、曲尺で約三・〇三センチメートル(303.030 mm)

鯨尺では約三・七九センチメートル(37.879 mm)

「見開きを分割」



御厨子棚 黒真塗り

一 惣高さ足迄六尺三寸

一 天井口迄長三尺六寸五分

一 横一尺三寸

一 板厚三分ずつ

〔図〕

七寸 同 三寸五分 足四寸五分

脇巾二尺八寸

一 金物は定法

黒棚 真塗り

一 惣高さ二尺三寸

一 横巾一尺一寸

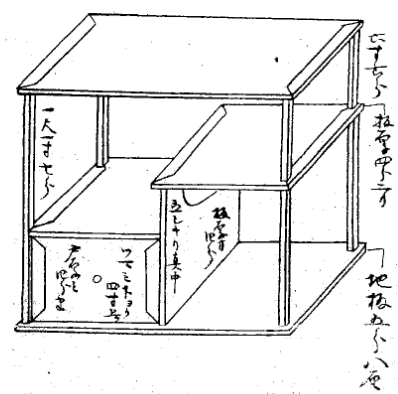
一 縦巾二尺八寸

一 板厚三分半ずつ

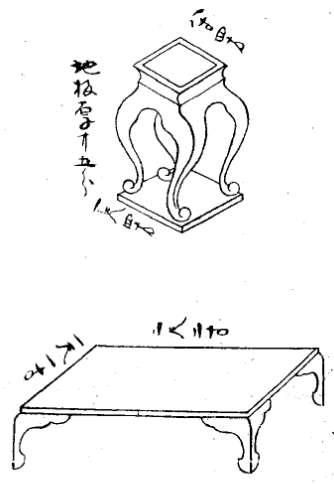
〔図〕

上同断(金物は定法)

香棚白木桐檜作り  
 一 高さ一尺九寸八分  
 一 柱太み七分四方メン一分  
 一 同チリ三分  
 一 惣ハシバミ七分ずつ  
 一 天井板四分八厘  
 一 横長二尺五寸五分  
 一 幅一尺二寸八分  
 右の外、袋棚、二重棚、違棚  
 寸法古不定も有り。寸法入用の節も  
 これ有るに吟味を遂ぐべし。  
 床、遣棚、脇板定法これ有り



卓寸法一尺九寸



長香臺

香棚 白木桐、檜作り

- 一 惣高さ一尺九寸八分
- 一 柱太み七分四方メン一分
- 一 同チリ三分
- 一 惣ハシバミ七分ずつ
- 一 天井板四分八厘
- 一 横長二尺五寸五分
- 一 幅一尺二寸八分

【図】

六寸六分 板厚四分二厘  
 地板五分八厘

右の外、袋棚、二重棚、違棚  
 寸法古不定も有り。寸法入用の節も  
 これ有るに吟味を遂ぐべし。

戸厚み 四分半  
 つまみ下より 四寸上

床、遣棚、脇板定法これ有り

一尺一寸七分

卓寸法一尺九寸

【図】

八寸四方

一尺四方

地板厚五分

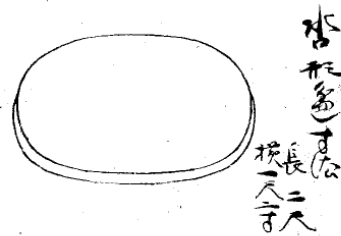
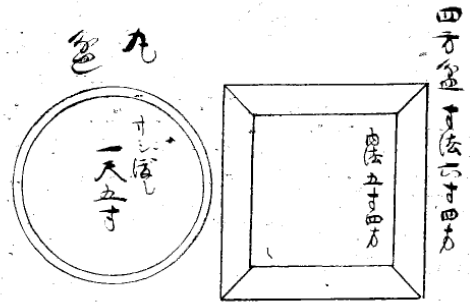
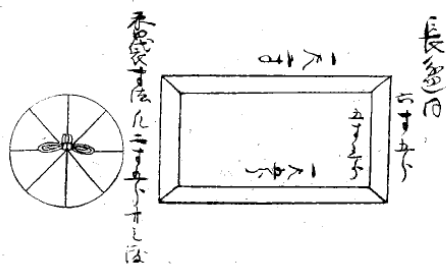
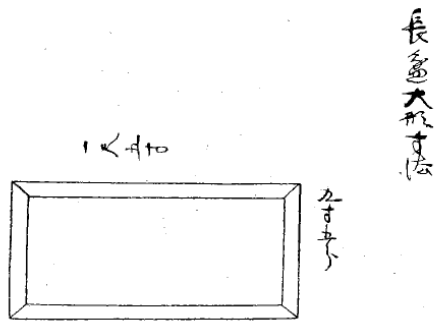
長香臺

【図】

足とも高さ五寸

二尺二寸

一尺一寸

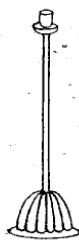


長盆大形寸法  
[図]  
一尺五寸  
九寸五分

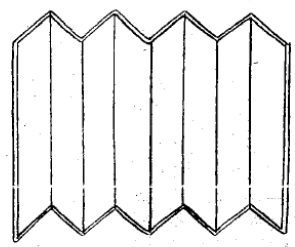
四方盆 寸法六寸四方  
[図]  
内法五寸四方  
丸盆  
[図]  
差し渡し  
一尺五寸

長盆 同  
[図]  
六寸五分  
五寸三分  
一尺二寸  
一尺五分  
沓型盆 寸法  
[図]  
長二尺  
横一尺二寸  
香袋寸法  
凡そ二寸五分差し渡し  
[図]

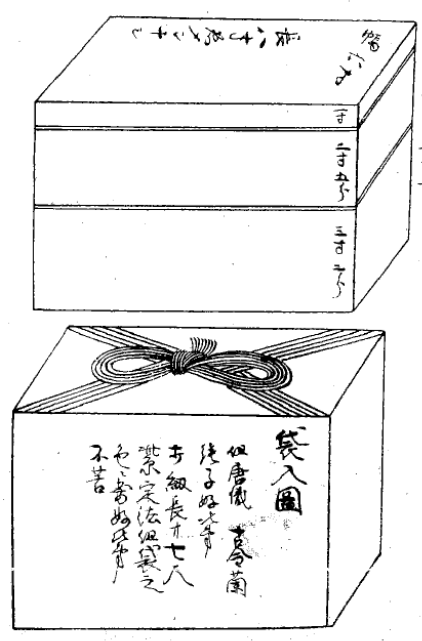
菊煌臺 一尺三寸または一尺五寸  
此は短檠用の竹けい(檠)も用ゆ  
手燭又は小燈いろいろこれに略す



香屏風 八枚折表大鷹紙白張りなり  
一高さ二尺七寸または三尺にも  
一横幅恰好にすべし  
一裏惣金こんしよう(紺青)、烏たすき(襷)  
蝶つがい金銀にて形ち蝶なり  
一縁呂いろなり



十種香箱 三重印籠口唐木作也但呂色、梨子地、時絵好みなり  
惣高さ六寸七分



菊煌臺 一尺三寸または一尺五寸

此のほか短檠用の竹けい(檠)も用ゆ  
手燭または小燈いろいろこれにこれを略す。

[図]

香屏風 八枚折表大鷹紙白張りなり。

- 一 高さ二尺七寸または三尺にも
- 一 横幅恰好にすべし
- 一 裏惣金こんしよう(紺青)、烏たすき(襷)
- 一 蝶つがい金銀にて形ち蝶なり
- 一 縁呂いろなり

十種香箱

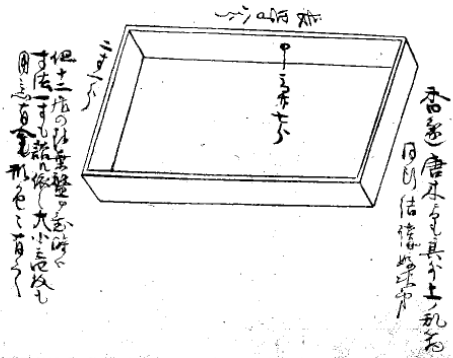
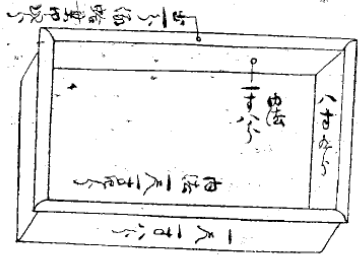
二重印籠口唐木にて作るなり。  
但、呂色、梨子地、時絵好みなり  
第

袋入図

惣高さ六寸七分  
幅六寸 一寸 二寸五分 三寸二分  
長八寸惣めんなし

但、唐織 古金蘭  
緞子好み次第  
打紐長さ七尺  
紫定法、但、袋の色に寄り好み次第  
苦しからず。

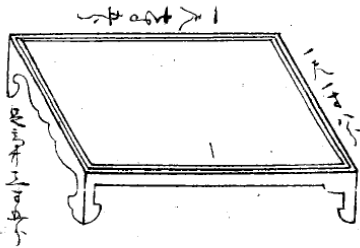
礼箱  
唐木也  
思案の  
唐箱  
李の地  
結構の  
唐木也



打敷盤 立物盤兼ねて作る  
焚合、真花月、連理、三傳、用

客居にも用ゆ。木地桐、檜または唐木に作るべし。立物盤用る時は、中板掛外に両めんを作るべし。兼帯にいたすばかり。以つて立物盤は別にこれを記さず。

香元盤 懸子筋、香組にて代々有り



乱箱

唐木にても黒塗りまたは蒔絵、梨子地結構好み次第なり。

〔図〕

八寸五分

内法

一寸八分

出一分縁蛤葉(蛤端)巾二分

内法一尺一寸四分

一尺一寸八分

香盆

唐木にても其の外上の乱箱同断結構好み次第

〔図〕

長四寸八分

高さ七分

二寸一分

但、十二居の銀葉盤を置く時は、寸法一寸も詰る。依つて、大小三・四枚も用意有るべし。形色々これ有り。

〔図〕

一尺一寸八分

一尺七分五寸

足高さ三寸五分

香元盤 懸子筋、香組にて

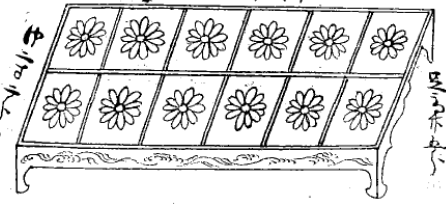
代々有り

依つてこれを記さず。



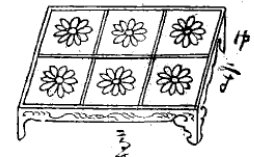
香葉盤

但、大概十居し  
四十二居の  
真花月其の  
新調より  
十二居より



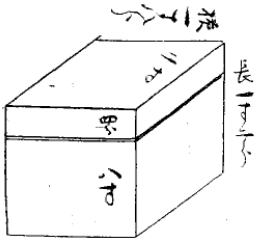
同試盤

香は重盤の試盤より  
思ふべきに  
花は貝にて  
作るべし



銀葉入の寸法

本代唐木、梨子地、蒔絵結  
構、好み次第、印籠口なり



火末入

但、銀葉入の仕法  
肉法、金にて作りし  
形も有り、寸法は  
定法なし、銀葉箱  
に順ずべし。尤も瀬戸物  
にては、内張に及ばず。



香葉盤

但、大概十居なり。  
図の如く十二居に作らば  
真花月其の外たよりよし  
新調なれば十二居にすべし。

同試盤

香銀葉盤、同試盤とも紫たん  
黒たん、梨子地、また蒔絵にも  
結構に作りてよし。花は貝にて  
作るべし。

銀葉入箱寸法

木地、唐木、梨子地、蒔絵結  
構、好み次第、印籠口なり。

火末入

但、銀葉入箱仕様同断。  
内張は金にてつくるべし。  
形色々これ有り。寸法は  
定法なし。銀葉箱に順ず  
べし。尤も瀬戸物にても  
よし。但、瀬戸物には  
内張に及ばず。

〔図〕

足高さ五分  
長五寸八分  
巾二寸二分

〔図〕

巾二寸  
長三寸二分  
高さ四分

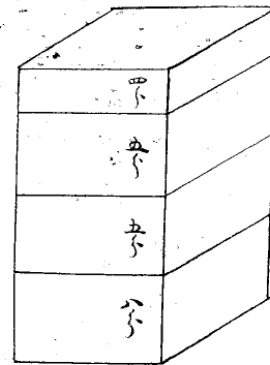
〔図〕

長一寸二分  
横一寸八分  
二寸四分八寸

〔図〕

重香合寸法 唐木、香心、蒔絵結構、好み次第

九分四方 七分四方  
八分四方 一寸四方



但上重香木入 中重銀葉入

下重火末入 但金銀の内に張すべし

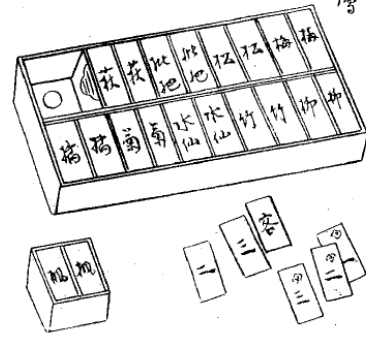
銀葉寸法

九分四方 七分四方  
八分四方 一寸四方



但上座合銀葉板し、  
焚物に便りあり。組香には火  
縁を金銀にて作る。試本香  
とも二十枚も用意すべし。

香札 十人前の札寸法 長九分、中四分半、但、小札惣箱  
札入れて能き程に作るべし。箱には寸法なし。札十二枚一人分なり。  
惣札数百二十枚なり。但、紫たん、黒たん好み次第。  
札紋は四季の草花、金にて蒔絵  
すべし。十炷香のほか、この札さし  
成丈(なるたけ)札数によそえて用ゆべし。  
この札にて雑用組香品々これ有り。  
古に順いて作るべし。



重香合寸法 唐木、梨子地、

蒔絵結構、好み次第。

銀葉寸法

九分四方 七分四方  
八分四方 一寸四方

〔図〕

惣高さ二寸二分

横一寸八分

四分 五分 五分 八分

但、上重香木入れ、中重銀葉入れ、

下重火末入れ、但金銀の内にて

内張すべし。

〔図〕

但、古法は金銀延板を用ゆ

焚物に便りあり。組香には火

縁を金銀にて作る。試本香

とも二十枚も用意すべし。

香札 十人前の札寸法 長九分、中四分半、但、小札惣箱

札入れて能き程に作るべし。箱には寸法なし。札十二枚一人分なり。

惣札数百二十枚なり。但、紫たん、黒たん好み次第。

札紋は四季の草花、金にて蒔絵

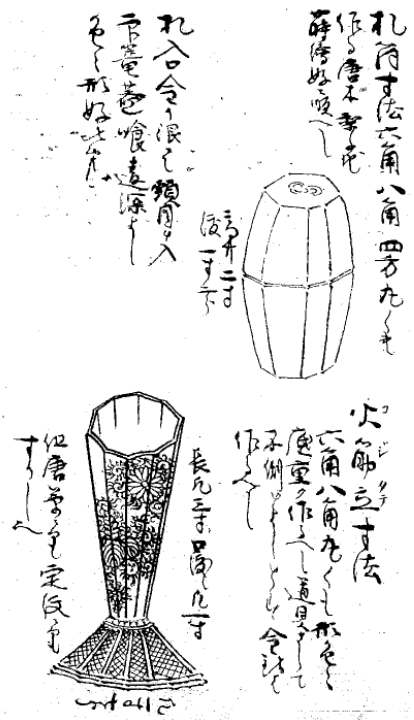
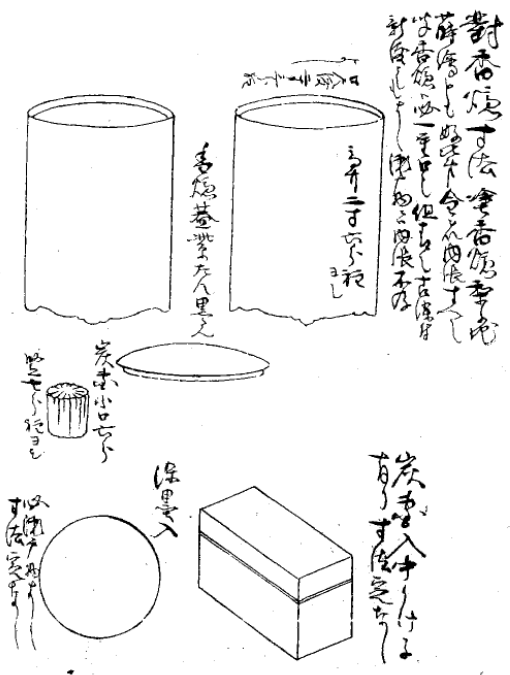
すべし。十炷香のほか、この札さし

成丈(なるたけ)札数によそえて用ゆべし。

この札にて雑用組香品々これ有り。

古に順いて作るべし。

〔図〕



**札筒寸法** 六角、八角、四方、丸くも作る。唐木、梨子地。時絵好みに順すべし。

〔図〕 高さ二寸 渡し一寸二分

札入口、金か銀にて鴨目を入れ印籠蓋、喰違い深きよし。色々形好み次第。

**火筋立** (こじたて) 寸法 六角、八角、丸くも形色々 底重く作るべし。道具さして倒れぬをよしとす。金銀にて作るべし。

〔図〕 長凡そ三寸 口渡し凡そ一寸 凡そ一寸七分 但、唐草にても定紋にてもすかし(透)なり。

**対香爐寸法** 塗香爐、梨子地 時絵とも好み次第。金を以て内張すべし。

間香爐は必ず一重口なり。但、青し(磁)、古染付、新渡りにてもよし。瀬戸物には内張に及ばず。〔図〕

高さ二寸六分程よし。

口尺渡り二寸三分程よし。

香爐蓋紫たん、黒たん

**炭団** 小口六分

〔図〕 炭団入 中かけ子(掛子) 有り。寸法定めなし。

**染墨入** 〔図〕 必ず瀬戸物よし。寸法定めなし。

〔図〕 炭団入 小口六分 炭団入 炭団入 炭団入

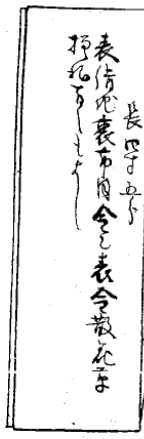
香割道具寸法



香割盤 六角、八角色々寸法  
定めなし。小振りよし。但、唐木  
にて作るべし。脇、時絵にも  
ほか道具柄に順ずべし。



同道具包



公道具寸法

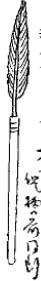


表長三寸五分 唐木にて時絵に  
すべし。



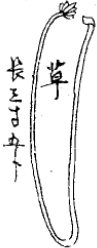
此扇作り 要あり 寸法上同じ

香羽箒



羽長一寸二分 柄二寸  
三分 但、柄は前同断。

銀葉鍔寸法



長さ三寸五分



真 三寸七分

行 三寸七分

香割道具寸法

[図]

刃一寸九分 柄二寸一部

香割寸法 香割に順ずべし。

柄は唐木にても、または時絵に  
ても

[図]

香割盤

六角、八角色々寸法  
定めなし。小振りよし。但、唐木  
にて作るべし。脇、時絵にも  
ほか道具柄に順ずべし。

同道具包

[図]

同道具包

[図]

長四寸五分

表絹地、裏布目金なり。表金散  
花草模様これ有るもよし。

火道具寸法

表長三寸五分 唐木にても時  
絵にても

[図] 巾五分五厘

裏、金にても銀にてもたき能く  
すべし。

[図]

厚ささだめなし。表同断

香羽箒

羽長一寸二分 柄二寸  
三分 但、柄は前同断。

銀葉鍔寸法

金銀にて作るべし。

草 [図]  
長さ三寸五分

緋扇作り

[図]

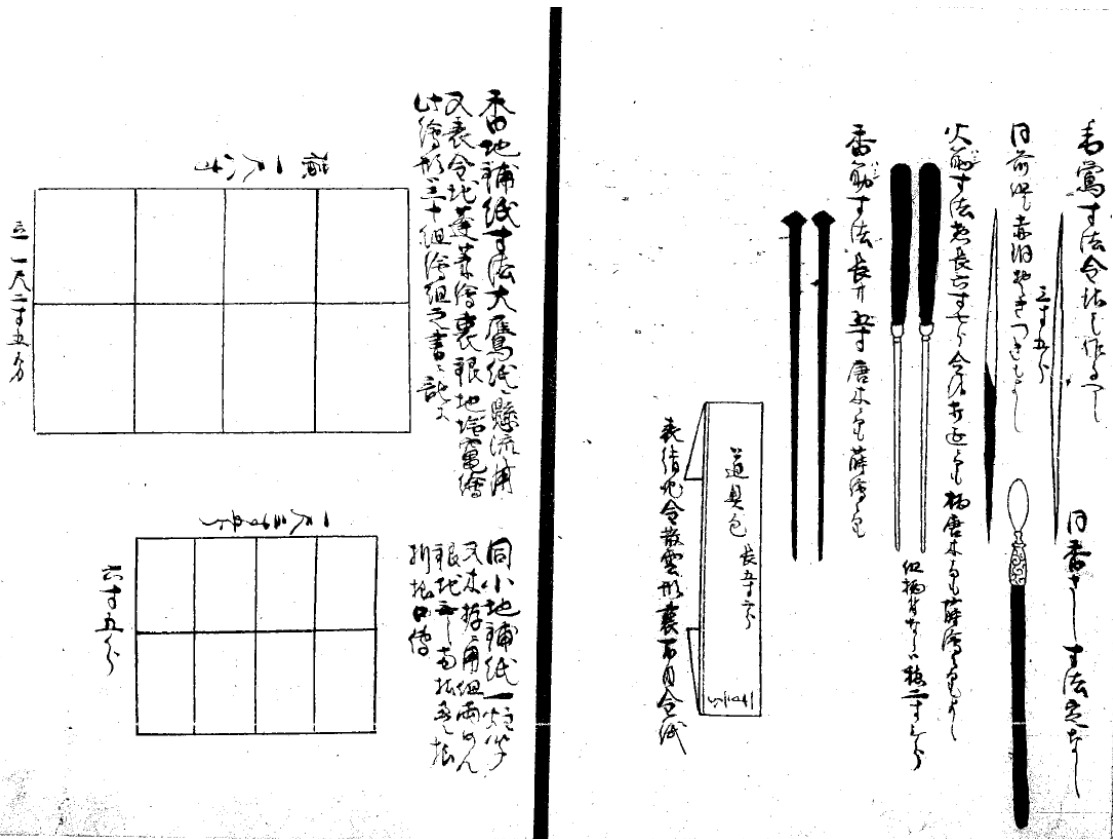
扇長三寸八分 金銀にて作るべ  
し。

[図]

但、当流にては用いずといえど  
も平生用いるにたよりよし。

行 三寸七分 [図]

真 三寸九分 [図]



香筋寸法 金銀にて作るべし。

〔図〕 三寸五分

同前但、赤銅そぎつぎもよし。

〔図〕

火筋寸法 惣長六寸七分

金銀打延べにても、柄唐木にて

も時絵にてもよし。

〔図〕 但、柄付きならば穂二寸

三分

香筋寸法 長さ五寸

唐木にても時絵にても 〔図〕

同香さじ(匙)寸法 定めなし

〔図〕

道具包 〔図〕

長五寸二分 一寸二分

表絹地金散雲形、裏布目金紙

香地敷紙寸法

大鷹紙に懸け流しを用ゆ。ま

た、表金地蓬萊絵、裏銀地塩竈

絵この絵形は『三十組絵組之

書』に記す。

〔図〕

横一尺八寸

立(豎)一尺二寸五分

同小地敷紙 一炷間

また、木拵えに用ゆ。但、両めん

銀地無し両様。畳み様、折り様

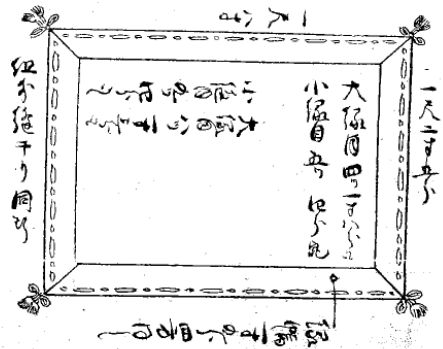
口傳。

〔図〕

一尺三寸五分

六寸五分

打敷三段仕立形寸法  
 焚合香は定法花田色、四方折  
 返し、廻中の四方にて縫い合せ、  
 中の四方裏は白地、何れにて  
 も、「花田色」と云うは空色  
 の事なり。  
 地は上羽二重またはこはくた  
 ん(琥珀丹後)、緞子にても唐  
 織にてもよし。四方総角房四方  
 同じ。紫打糸二筋。合せ糸太細  
 は見ばかり。大縫い目、小縫い目  
 大概これを記す。此の仕立て方  
 は雛形故、申し付くべし。心得  
 違ふことあり。



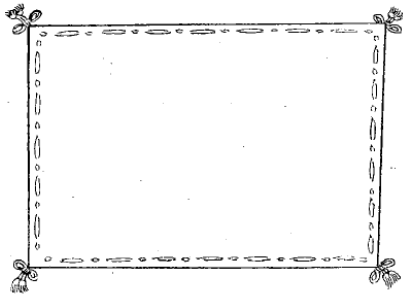
打敷三段仕立形寸法

焚合香は定法花田色、四方折  
 返し。  
 図は廻中の四方にて縫い合せ、  
 中の四方裏は白地、何れにて  
 も、「花田色」と云うは空色  
 の事なり。  
 地は上羽二重またはこはくた  
 ん(琥珀丹後)、緞子にても唐  
 織にてもよし。四方総角房四方  
 同じ。紫打糸二筋。合せ糸太細  
 は見ばかり。大縫い目、小縫い目  
 大概これを記す。此の仕立て方  
 は雛形故、申し付くべし。心得  
 違ふことあり。

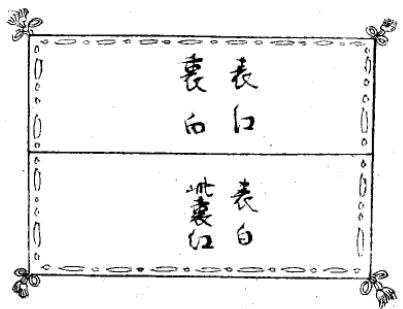
[図]

一尺二寸五分  
 大縫目四つ 一寸八分ばかり  
 小縫目五つ 四分ずつ  
 縁幅一寸九分四方同じ  
 一尺八寸  
 大縫目八つ 一寸三分ずつ  
 小縫目九つ 四分ずつ  
 但、外縫いチリ同断

真花月香打敷寸法前同断  
 表白裏紅なり。唐織または緞  
 子錦金調、但、縫糸紅白打糸  
 二筋、色紅一筋、白一筋総角も  
 紅白打ち交ぜ



連理香打敷寸法同断  
 地生(生地)、上同断。但、紅白織  
 合せなり。尤も懸け縫いにて相  
 濟。



真花月香打敷寸法前同断

表白裏紅なり。唐織または緞  
 子錦金調、但、縫糸紅白打糸  
 二筋、色紅一筋、白一筋総角も  
 紅白打ち交ぜ

[図]

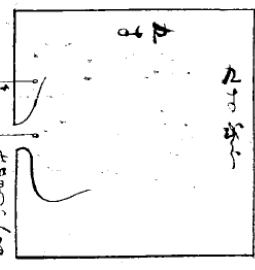
表紅 表白  
 裏白 此の裏紅

連理香打敷寸法同断

地生(生地)、上同断。但、紅白織  
 合せなり。尤も懸け縫いにて相  
 濟。  
 惣仕上げ方口傳。

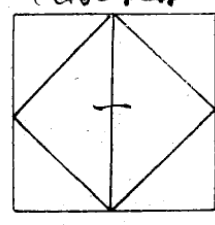
[図]

香帛紗寸法



但色白紫(浅黄)白黄(何れも)羽二重なり

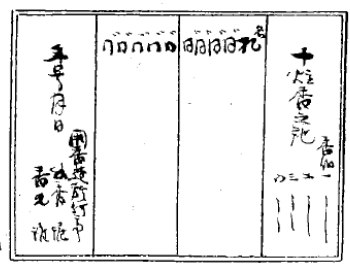
同折居寸法表絹表布目金



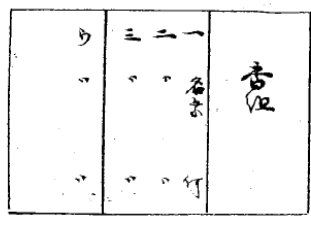
寸法 四寸五分 縫合 四寸五分

同懐中帛寸法 四寸五分 縫合 四寸五分 織物縫い入れ好み次第 二つに折る。但、表裏別物にてもよし。

記録帛、鳥の子紙又本書粘入 縁紅四方一分ずつ又上下二方をい



小記録紙 奉書 粘入四つ切



紙色 堅三寸七分 四つ折り 上折る

香帛紗寸法

〔図〕 九寸二分 九寸

→ 此処よりかえる  
→ 此処系返すばかり  
但、色紅、紫、浅黄、白黄、何れも無地がよし。羽二重なり。

同折居寸法 表絹、裏布目金

数、十ばかり  
〔図〕 二寸二分 四方ずつ

寸法 四寸五分 四方縫い合せ  
同懐中帛寸法 四寸五分 四方縫い合せ。唐織にても、和物にても、織物縫い入れ好み次第。二つに折る。但、表裏別物にてもよし。

記録帛(紙)は鳥の子紙、

また奉書粘入。  
縁紅四方一分ずつ。また上下二方を用い

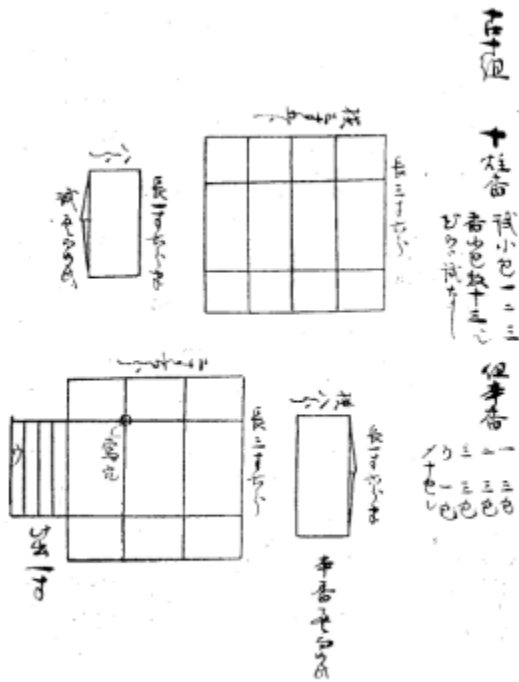
小記録紙 奉書

〔図〕 粘入四つ切

〔図〕 四方縁紅一分ずつ

仮包

〔図〕 堅三寸七分 四つ折り、上折る



古十組 十炷香

- 試小包 一ニ三
- 香小包 数十三 (↓包)にて
- 尤も、ウは試なし
- 〔展開図〕長三寸六分
- 横三寸五分
- 〔置図〕長一寸六分半
- 横八分 試包置みて如此

但、本香 一ニ三包

- 二三包
- 三三包
- ウ一包
- ×て十包なり

- 〔置図〕長一寸六分
- 横八分 本香置みて如此
- 〔展開図〕長三寸六分
- 横二寸六分 鶯穴
- 此の出一寸

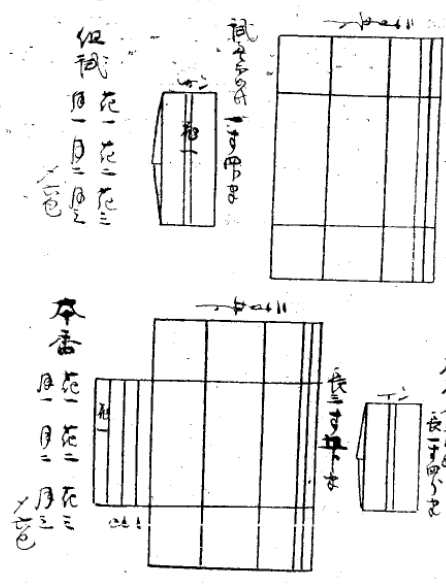
組香惣包

- 同名兼紙 奉書または粘入八つ切
- 〔展開図〕縦五寸程 横三寸六分程
- 四つ折り 上を折る
- 〔置図〕
- 下折一寸八分 折返し八分
- 上折返し一寸七・八分にも
- 縦に折 三寸二分
- 〔展開図〕
- 横五寸 二寸一分
- 惣縦長六寸

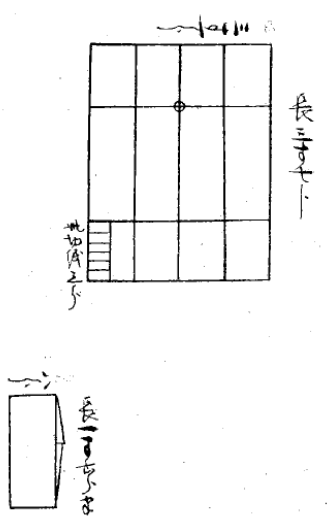
但、此の惣包十炷香、其の外、古中新十組ずつ都合三十組これ有り。表絹地、裏金銀なり。模様並び金銀さいしき(彩色)仕様等々、別に詳しくこれ有り。これを略す。



花月香



小鳥香



花月香

〔展開図〕長三寸五分

横二寸五分

試置みて如此〔置図〕

長一寸四分半

横八分

但、試花一花二花三

月一月二月三

〆て六包

本香置みて如此

〔置図〕長一寸四分半

横八分

〔展開図〕

長三寸五分半

横二寸五分

一寸

本香 花一花二花三

月一月二月三

〆て六包

小鳥香

本香 一 二 三 四 五

一 二 三 四 五

〆て十包

各二包ずつ試なし

〔展開図〕

長三寸七分

横三寸一分

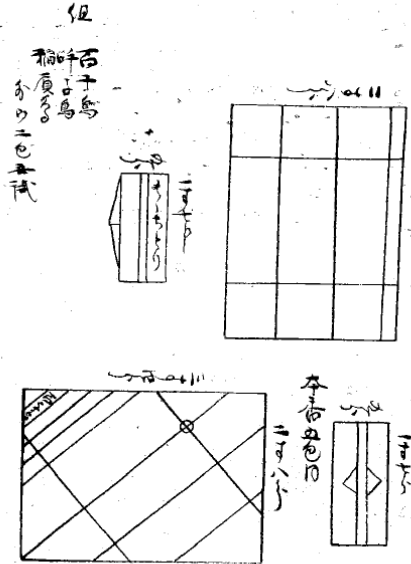
〔置図〕

長一寸六分半

横八分

此の切り紙三分

鳥合香



鳥合香

〔展開図〕

長三寸六分

横二寸八分

〔置図〕

長一寸七分

横九分

但百千鳥

呼子鳥

稲負鳥

ほかウニ包無試

本香五包同

〔置図〕

長一寸七分

横九分

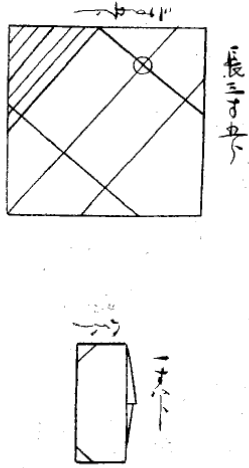
〔展開図〕

長二寸八分

横三寸四分

系圖香

本香十六包試無  
内、四包焚き出す



系圖香

本香十六包試無し

内、四包焚き出すなり。

〔展開図〕

長三寸五分

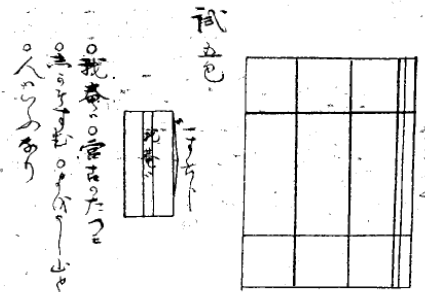
横三寸五分

〔置図〕

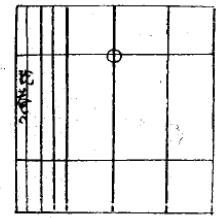
長一寸八分

横八分

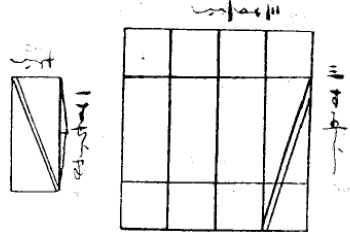
宇治山香



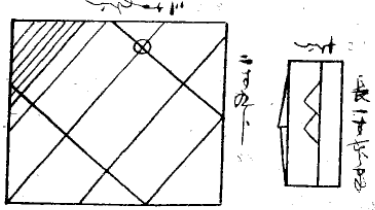
本香十包



源平香



本香十包



宇治山香

〔展開図〕

長三寸七分 横？

試五包

〔置図〕

長一寸六分 横？

- 我が庵は ○宮古のたつみ
- しかぞすむ ○よをうじ山と
- 人はいふなり

源平香

試一二三

ウ一包は試なし

〔展開図〕

長三寸五分

横三寸一分

〔置図〕

長一寸六分半

横七分

〔置図〕

長一寸六分

横？

本香五包

〔展開図〕

長三寸七分

横？

本香十包

一 三包

二 三包

三 三包

〔置図〕

長一寸六分半

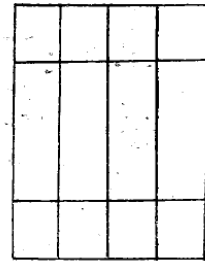
横七分

〔展開図〕

長二寸九分

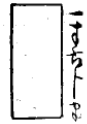
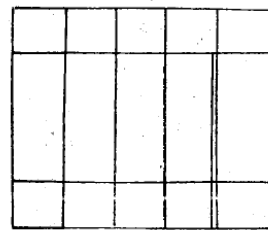
横三寸九分

焚合十炷香



試三包  
二包  
三包

本香十包



焚合十炷香

[展開図]

長四寸五分

横二寸九分

[置図]

長二寸五分

横七分半

試三包 一包

二包

三包

[置図]

長一寸六分半

横?

[展開図]

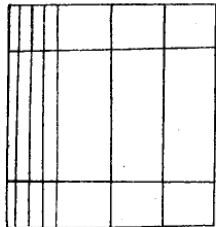
長三寸六分

横三寸八分

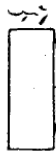
本香十包

郭公香

本香かず人数次第



三寸五分



二寸八分

郭公香

本香かず人数次第

[展開図]

長三寸八分

横三寸三分

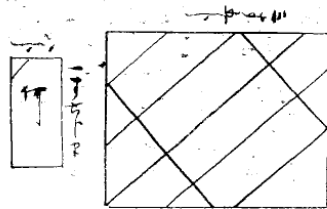
[置図]

長一寸八分

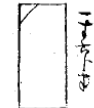
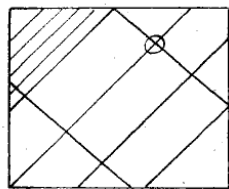
横八分

小草香

試小包の寄り数不定



本香包の寄り数不定(凡)



小草香

〔展開図〕

長二寸七分

横三寸五分

〔置図〕

長一寸六分半

横八分

試およそ三包、

名に寄り数不定

〔置図〕

長一寸六分半

横？

〔展開図〕

長二寸七分

横三寸二分

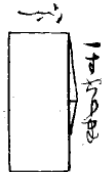
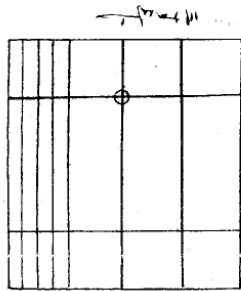
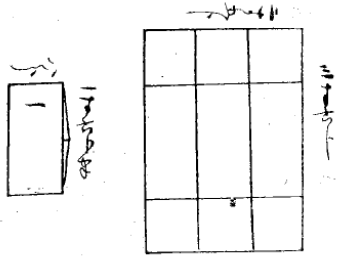
本香包 草の名に寄り不定

凡そ四包

中十組

名所香 試小包一ニ三

本香 一ニ三 包の寄り



中十組 名所香

試小包 一ニ三

一三包 二三包

三三包 ウ一包

但、ウ試香なし

本香は、

〔展開図〕

長三寸六分

横二寸五分

〔置図〕

長一寸六分半

横八分

〔置図〕

長一寸六分半

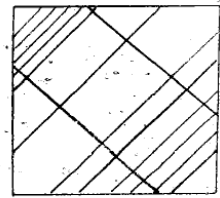
横八分

〔展開図〕

長三寸五分

横三寸三分

源氏香



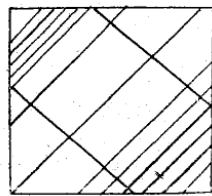
三寸五分

但本香より二十五包無試



三寸五分

三炷香



三寸五分

但本香より二十五包無試

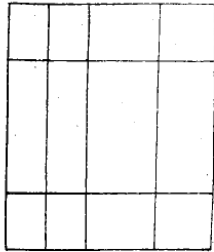


三寸五分

競馬香

試四包 一 二 三 四

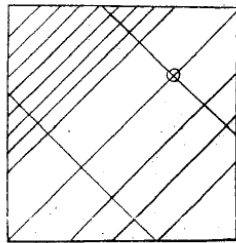
本香十二包



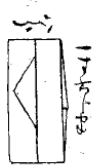
三寸五分



三寸五分



三寸五分



三寸五分

源氏香

〔展開図〕

長三寸五分

横三寸五分

但、本香ばかり二十五包無試

〔置図〕

長一寸六分

横八分

三炷香

〔展開図〕

長三寸五分

横三寸五分

但、本香ばかりにて試香なし

〔置図〕

長一寸六分半

横八分

競馬香

試四包 一 二 三 四

各一包ずつ

本香十二包

〔置図〕

長一寸六分半

横八分

〔展開図〕

長三寸五分

横？（三寸五分）

横八分

長一寸六分半

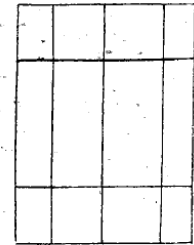
〔置図〕

横二寸五分

長三寸六分

〔展開図〕

矢數香



〔展開図〕

長三寸六分

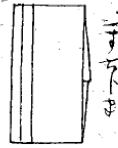
横二寸五分

〔置図〕

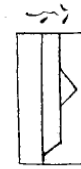
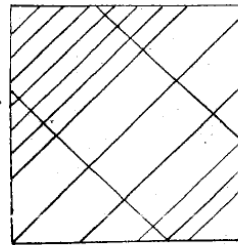
長一寸六分半

横八分

但試一二三四



本香十二包



〔置図〕

長一寸六分半

横八分

〔展開図〕

長三寸五分

横三寸五分

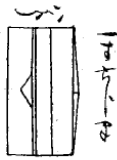
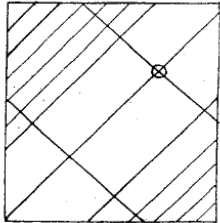
但、試 一 二 三 四

本香十二包

草木香十包

一 二 三 四 五

各二包ずつ



〔展開図〕

長三寸五分

横三寸五分

〔置図〕

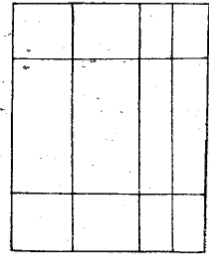
長一寸六分半

横八分

草木香十包

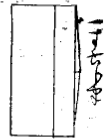
一 二 三 四 五  
各二包ずつ

舞楽香



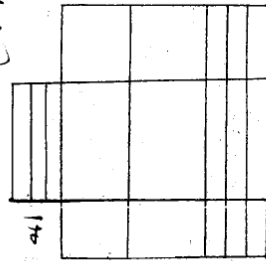
三寸五分

試四包



1寸五分

本香十包



三寸五分

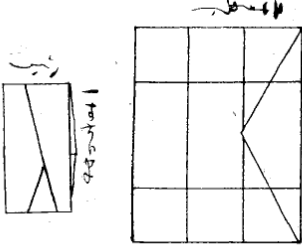


1寸五分

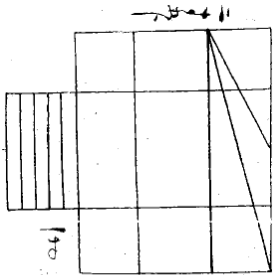
四町香

試四包 紫花散里  
女三 明石

本香十三包



三寸五分



三寸五分



1寸五分

舞楽香

〔展開図〕

長三寸六分

横?(二寸五分)

〔置図〕

長一寸六分半

横?(八分)

試四包

〔置図〕

長一寸六分半

横?(八分)

〔展開図〕

長三寸五分

横?(二寸五分)

隱一寸

本香十包

四町香

試四包 紫花散里

女三 明石

本香十三包

〔置図〕

長一寸六分半

横八分

〔展開図〕

長三寸六分

横二寸五分

隱一寸

〔展開図〕

長三寸六分

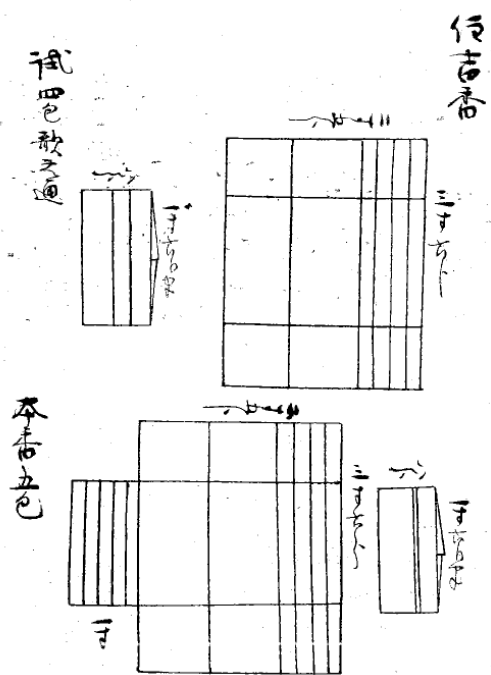
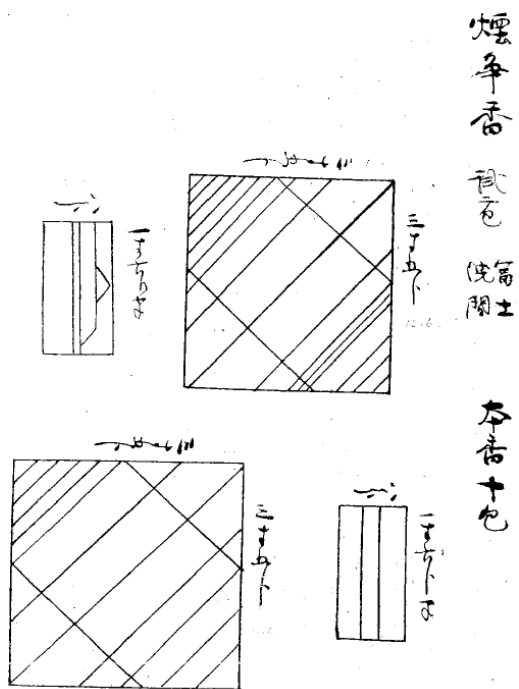
横二寸五分

〔置図〕

長一寸六分半

横八分





煙争香  
 [展開図]  
 長三寸五分  
 横三寸五分  
 [置図]  
 長一寸六分半  
 横八分

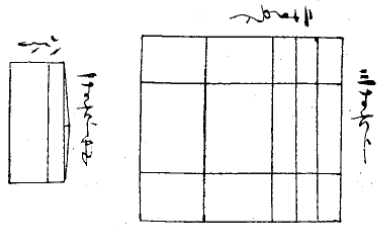
試二包 富士  
 浅間

本香十包  
 [置図]  
 長一寸六分半  
 横八分  
 [展開図]  
 長三寸五分  
 横三寸五分

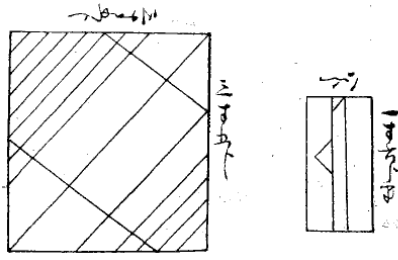
住吉香  
 [展開図]  
 長三寸六分  
 横二寸五分  
 [置図]  
 長一寸六分半  
 横八分  
 試四包 歌の通り

本香五包  
 [置図]  
 長一寸六分半  
 横八分  
 [展開図]  
 長三寸六分  
 横二寸五分  
 隠一寸

新十組 花軍番紙包



本香九包  
梅四包  
桜四包  
嵐一包



新十組 花軍香

試二包

梅桜

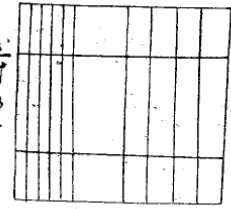
本香九包

梅四包  
桜四包  
嵐一包

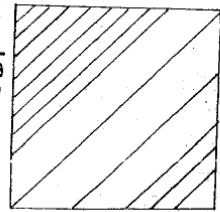
[展開図]  
長三寸六分  
横二寸五分  
[畳図]  
長一寸六分半  
横八分

[畳図]  
長一寸六分半  
横八分  
[展開図]  
長三寸五分  
横三寸五分

古今香 前同断



吳越香 前同断



古今香 前同断

[展開図]

長三寸五分

横三寸五分

[置図]

長一寸六分半

横八分

吳越香 前同断

[展開図]

上同断(長三寸五分)

上同断(横三寸五分)

[置図]

上同断(長一寸六分半)

横八分

三夕香 前同断

横立山

鳴立沢

浦の苦屋

三包

蹴鞠香

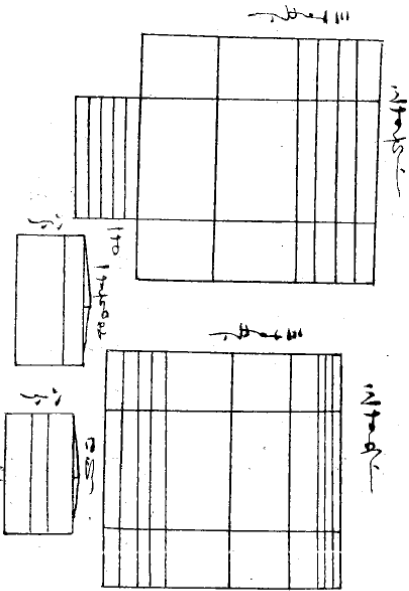
試前同 一 二 三

× 三 包

三夕香 前同断

横立山  
鳴立沢  
浦の苦屋

蹴鞠香 前同断



三夕香 前同断

[展開図]

長三寸六分

横三寸五分

隠一寸

[置図]

長一寸六分半

横八分

蹴鞠香

[展開図]

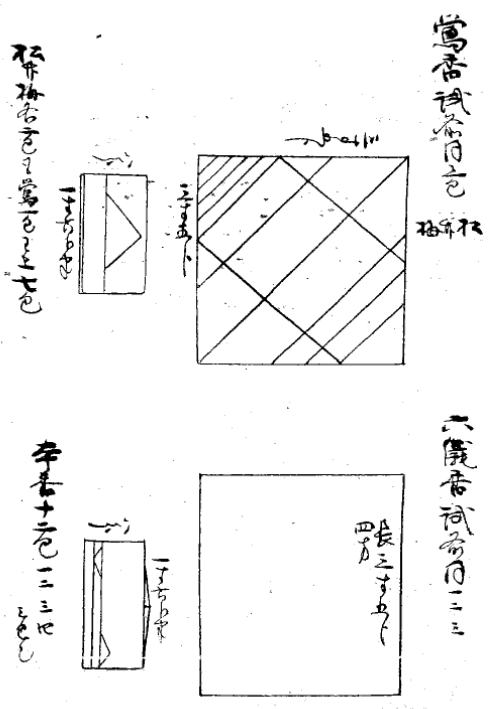
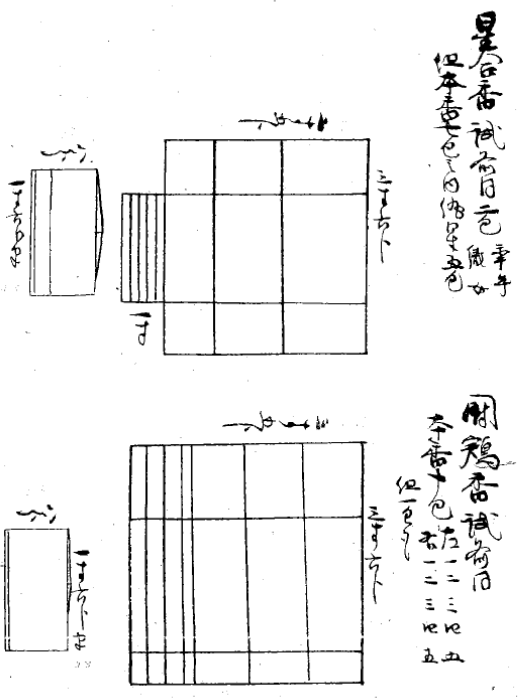
長三寸六分

横三寸五分

[置図]

同断(長一寸六分半)

横八分



鶯香

試前同三包 松竹梅

〔展開図〕

長三寸五分

横三寸五分

〔置図〕

長一寸六分半

横八分

松竹梅各二包ずつ、鶯一包

已上七包

六儀香

試前同 一 二 三

〔展開図なし〕

長三寸五分四方

〔置図〕

長一寸六分半

横八分

本香十二包 一 二 三 四

三包(ずつ)なり

星合香

試前同二包 牽牛 織女

但、本香七包の内、仇星五包

〔展開図〕

長三寸六分

横二寸五分

隠一寸

〔置図〕

長一寸六分半

横八分

關鶏香

試前同 本香十包

左 一 二 三 四 五

右 一 二 三 四 五

〔展開図〕

長三寸六分

横三寸五分

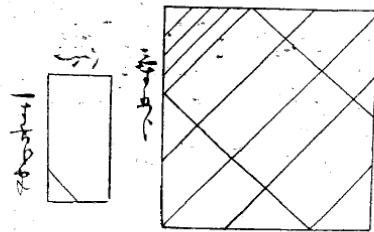
〔置図〕

長一寸六分半

横八分

但、一包ずつ

焚合花月香



試花  
月二包なり

本香四包  
花二包  
月二包

焚合花月香

〔展開図〕

長三寸五分

横三寸五分

〔置図〕

長一寸六分半

横八分

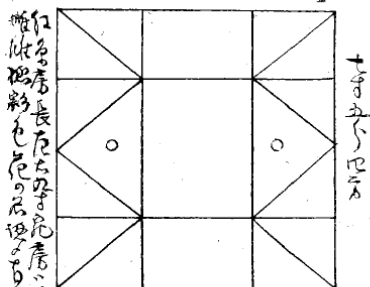
試花

月二包なり

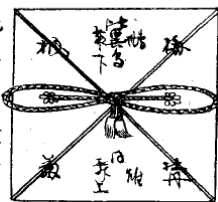
本香四包  
花二包  
月二包

連理香惣包寸法

表絹紫、裏布目金、折返金なし  
左右図の通り、金銀枝折草花  
折りの内にてこれ有り



紅糸房長左右九寸ずつ。房は寸法の分見る。こと。



比翼鳥上下折草花打渡し

同たたみ上寸法  
三寸八分四方

連理香惣包寸法

表絹紫、裏布目金、折返金なし

左右図の通り、金銀枝折草花

折りの内にてこれ有り。

〔展開図〕

長七寸五分四方

紅糸房長左右九寸ずつ。房は寸法の分見る。こと。

雌雄認め彩色、花の名認めこれ有り。

同たたみ上寸法

三寸八分四方

〔置図〕

梅 牡丹

雌 雄

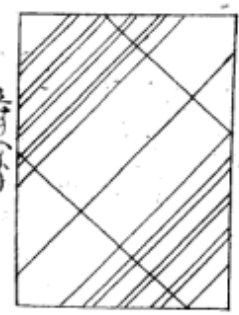
比翼鳥 同

舞上 舞下

楓 菊

比翼鳥上下雌雄、草花打渡し

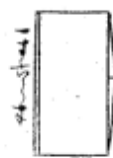
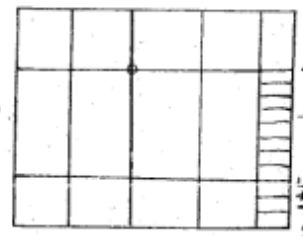
連理香小包折方寸法



但小包紙は鳥の子紙、奉書の内なり。尤も、白帟(紙)なり。試包一二三四五、二包ずつ、本香十包なり。

明治三十年十月十五日香の御座る相模府の御座る香の御座る

細谷松男



三寸五分 下地

連理香小包折方寸法

[展開図]

長三寸八分

横?

[畳図]

長一寸八分

横?

但、小包紙は鳥の子紙、奉書の内なり。尤も、白帟(紙)なり。試包一二三四五、二包ずつ、本香十包なり。

明治三十年十月十五日

初條並びに押板前五つ飾り臺の所、少し加筆謹校

[展開図]

長三寸五分

横?

[畳図]

長一寸六分半

横?

此の切下げ七分

細谷松男

在判

令和三年二月

『香筵雅遊』國井和裕